新型コロナ対策

2904人 忘れられない門出

卒業式も中止

学部2813人、大学院修士課程89人、同博士課程2人、計2904人（うち留学生118人）が、3月20日に本学を卒業した。新型コロナウイルスの感染防止のためパシフィコ横浜国立大ホールで同日に挙行予定だった「令和元年度卒業式」は中止、同19日に学内で実施予定だった「学位記授与式」は、出席人数の関係から学部実施を中止にし、大学院のみ執り行った。

◇

学部卒業生には、両行事の中止に伴い、学位記、記念品などを同19日付で郵送した。記念リーフレットには、学長・理事長からのメッセージ（**要旨別掲**）や各賞受賞者一覧が掲載された。その中で佐藤圭一学長は、まず今回の卒業式中止を受けて、「式典を挙げられなかったことは痛恨の極み」と述べた。その後、国士舘建学の精神や教育理念などについて説き、最後は、「自分の力を信じて、素晴らしい人生を」と締めくくった。

大学院修了生については、各研究科で学位記授与式のみ同19日に挙行し、各研究科長から学位記が修了生一人一人に授与され、記念品なども同日に贈られた。

大学院は学位記授与式開催

田中研究科長から学位記を授与される修了生（大学院救急システム研究科）

本学の歴史紹介動画を配信

本学ホームページでは記念リーフレットに掲載の学長・理事長からのメッセージ、各賞受賞者一覧、卒業式に上映予定だった「国士舘の足跡」の動画が閲覧できます。

〝絆〟結ぶ国士舘精神の継承者たれ！

佐藤圭一学長式辞

ご卒業おめでとうございます。本来ならば、一堂に会して祝福し、お互いの友情と健闘を讃え合う大切な一日となるはずでした。式典を挙げられなかったことは痛恨の極みであります。

皆さんは、私が学長に就任して最初の新入生でした。平成28年度入学式は満開の桜が皆さんを迎えましたね。そのとき私は「大学での4年間は人生の宝物。この4年間の過ごし方でその後の人生が変わる」と式辞で述べました。すると20年後、30年後に皆さんが「今ある自分の礎となった」と振り返っていただけるならば、私たち教職員の本懐とするところです。

国士舘創立100周年では、秋晴れの空にバルーンを一斉に解き放ち、本学の記念日を皆さんと共に迎えたことは大きな喜びでした。

世界はいま、相次ぐ自然災害にあっても秩序を重んじ、他者のために行動する日本人へ賞讃を送っています。日本人のもつ公徳心や他者への献身ともいえる精神性は、まさに国士舘建学の精神「世のため、人のために尽くせる人材『国士』の養成」を成すものです。

また、国士舘教育理念の四徳目「誠意・勤労・見識・気魄」は、日本人が守り抜いてきた精神文化と価値意識そのものです。

自然災害と向き合う宿命を負う日本にあって、皆さんが学んだ国士舘の防災教育は、必ずや世のため人のために役立つはずです。

母校・国士舘と永遠の〝絆〟で結ばれた皆さんは、国士舘精神の継承者です。いつか再会を果たし、本学、そして「世界と日本」の将来について語り合いましょう。最後にバーナード・ショーの格言を添えます。

「人生とは、自分を見つけることではない。人生とは自分を創ることである」

自分を信じて、素晴らしい人生を。

「思いやる心」忘れず豊かな人生を

大澤英雄理事長祝辞

皆さんは本学で学問を修め研さんを積んだ功により、めでたく栄誉と称号を手にされました。心からお祝いを申し上げます。

まずは、この時間を与えてくださったご家族をはじめ周りの方々に感謝の気持ちを伝えることを忘れないでください。

皆さんが手にした学位記は、学問の基礎を身に付けた証明書であり、学ぶことの終了を意味するものではありません。今後も、皆さんが進む厳しい実社会の中で、自分で目的を定め、自身の資質と能力を十分に発揮できるよう、努力を続けることが真の学びなのです。成功する人は「粘り強さ」と「忍耐力」を兼ね備えています。すぐに結果を求めず、確固たる意志を持ち、与えられた環境や条件に対していかに工夫し前進するかが重要なのです。そうすることで生まれる「責任感」と周りからの「信頼感」を実感してください。

今般のウイルス感染拡大をはじめ、世界中で自然災害が発生するなど現代社会は先の見通しがきかず、難しい時代といえます。そんな時だからこそ、時代がどのように変わろうと皆さんには「人を思いやる心」を常に心にとめ置いていただきたいと思います。一つ一つの出会いを大切にして、誠意をもって対応すること、感謝することを心がけてください。誰かの役に立つことを喜ぶ気持ちこそが、国士舘精神の原点です。

皆さんは、在学中に国士舘創立100周年を迎えた、記念すべき卒業生です。国士舘精神の具現者として、一歩一歩、確かな足取りで努力を続け、心豊かな人生となるよう心から願っています。

皆さんの母校となる国士舘もさらなる発展に向かうことをお誓いして餞の言葉といたします。

卒業記念品は「大講堂」

オリジナル切手シート

教育後援会が贈呈

本学の教育方針に基づく諸活動を支援する国士舘大学教育後援会は3月、令和元年度学部卒業生に記念品として「国士舘大講堂創建100年記念切手シート」（写真）を贈呈した。

切手シートは、教育後援会が作成したオリジナル切手で、84円切手と63円切手が各5枚収められている。デザインには、本学のシンボルで昨年11月に創建100年を迎えた国士舘大講堂（国登録有形文化財）のさまざまな姿が、写真や墨絵、イラストなどで描かれている。

当初は学位記授与式で贈呈予定だったが、式の中止を受け、学位記などとともに卒業生に向けて同19日付で郵送された。

教育後援会は令和元年度で発足4年目となり、学生ご父母の会員が全学年に組織される完成年度を迎え、初めての卒業生を送り出した。

「培った協調性を社会でも発揮して」

学生寮卒業生の修了式

1月30日、令和元年度国士舘大学学生寮修了式を町田キャンパス30号館3010教室で行い、学生寮修了生と在寮生、教職員合わせて約250人が出席した＝写真。

修了式では、角田直也副学長から寮長などを務めた16人に功労賞として賞状と記念品が授与された。

角田副学長は式辞で「寮での集団生活で培われた協調性を社会に出ても発揮してほしい」と述べ、修了生の新たな門出を祝った。

最後に、出席者全員で寮歌を斉唱し閉会した。

「夢をあきらめない」で

ご卒業おめでとうございます。皆さんは4年前の入学式を覚えていますか。会場では「夢をあきらめないカード」を配布し、これから始まる大学生活に向けたメッセージをいただきました。

皆さんのご卒業にあたり、本学ホームページで4年前のメッセージを公開していますので、ぜひご覧ください。

これからも夢をあきらめない気持ちを大切にして大きく飛躍されることを祈っています。

「入学時の決意」公開中です

7カ国に新たな架け橋

交換留学生修了式

1月25日、令和元年度交換留学生修了式を世田谷キャンパス34号館B棟3階会議室Bで挙行し、中国やドイツなど7カ国から来日し、1年間本学で学んだ交換留学生19人が出席した＝写真。

修了式では、大高敏男国際交流センター長から交換留学生一人一人に修了証と記念品が授与された。大高センター長は、「国士舘に留学してできたネットワークを大切にし、母国での活躍を期待している」と祝辞を述べた。

式終了後は、会場を1号館1階学生ラウンジに移して交流会が催され、交換留学生に加え、教職員、卒業・修了予定の留学生が参加し、別れを惜しんだ。

証書授与 慣れ親しんだ教室で

中高も卒業式中止

国士舘中学校・高等学校は、3月6日に昼間定時制課程の、同8日に全日制課程の令和元年度卒業証書授与を中学校・高等学校の各教室で行い、中学3年生37人と両課程合せて高校3年生385人が新たな門出を迎えた。8日には、登校した卒業生が各教室に集まり、岩渕公一校長の全校放送による式辞に耳を澄ませた。岩渕校長は式辞で「3年間で心と体が大きく成長し、見違えるほど立派になった」と述べ「これから進む社会は今より複雑だが、どんな困難な時でも一歩ずつ進み、明るく素直でいてほしい」と卒業生にはなむけの言葉を贈った。

引き続き、高等学校の峠山真結子さんが卒業生を代表して答辞を読み上げ、館歌斉唱の後、各教室でクラス担任から卒業証書が授与された。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、同5日から休校措置がとられる中、例年世田谷キャンパスの10号館多目的フロアを会場に行われる卒業式は中止となった。

担任から卒業証書を受け取る卒業生（高等学校）

優秀修士論文賞・優等賞・柴田徳次郎賞受賞者

（カッコ内は出身校）

《優秀修士論文賞》

●人文科学研究科
宮崎琴子
●経営学研究科
楽　佳
●スポーツ・システム研究科
高橋優花子
●グローバルアジア研究科
熊谷大志
●政治学研究科
瀬戸口歩稀
●工学研究科
山下浩一朗
●救急システム研究科
中川洸志

《優等賞》

●政経学部
◇政治行政学科
日向雅江（私立常総学院高等学校）
小林郁未（新潟県立新潟商業高等学校）
内堀聖也（長野県小諸高等学校）
◇経済学科
癸生川稜（私立国士舘高等学校）
角野拓哉（習志野市立習志野高等学校）
斎藤倖太（千葉県立八千代東高等学校）
和久津優太（埼玉県立上尾南高等学校）
◇スポーツ医科学科
花島杏菜（富山県立南砺福光高等学校）
今宮千笑（神奈川県立新城高等学校）
◇こどもスポーツ教育学科
宮下由佳（長野県松本蟻ヶ崎高等学校）
●理工学部
◇機械工学系
田川智一（埼玉県立川口北高等学校）
◇電子情報学系
津吹尭（東京都立八王子北高等学校）
◇建築学系
大島和浩（栃木県立那須高等学校）
拓陽高等学校）
◇まちづくり学系
鶴蘭敦也（私立神村学園高等部）
◇健康医工学系
畑玲南（東京都立大山高等学校）
●文学部
◇基礎理学系
内山智皓（私立東海大学小林花奈（私立東葉高等学校）
◇法律学科
添田真広（福島県立郡山東高等学校）
中山黎（新潟県立高田北城高等学校）
佐藤虎之介（千葉県立松戸国際高等学校）
◇現代ビジネス法学科
坂田未来（私立昭和第一高等学校）
尾南高等学校）
倉持友哉（茨城県立境高等学校）
石塚琳太郎（私立向陽台高等学校）
●体育学部
◇体育学科
木曽太賀（東京都立城東高等学校）
古谷紗季（私立つくば秀英高等学校）
中野弥成（私立前橋育英高等学校）
阿部紗也加（福島県立いわき光洋高等学校）
◇武道学科
前阪吉美（鹿屋市立鹿屋女子高等学校）
竹井詠理（私立常葉大学附属常葉高等学校）
秋山那穂（新潟県立新発田高等学校）
田原慎乃介（私立大成高等学校）
●文学部
◇教育学科（教育学専攻）
佐藤瞳（新潟県立上越総合技術高等学校）
◇同（倫理学専攻）
唐鎌史典（私立城北高等学校）
◇同（初等教育専攻）
岸野はるか（神奈川県立大和高等学校）
◇史学地理学科（考古・日本史学専攻）
城福友哉（千葉県立佐倉高等学校）
◇同（東洋史学専攻）
小俣寿季（山梨県立都留高等学校）
◇同（地理・環境専攻）
杉山公介（静岡県立磐田西高等学校）
◇文学科（中国語・中国文学専攻）
畠山知佳（東京都立山崎高等学校）
◇同（日本文学・文化専攻）
笹野梨奈（宮城県石巻好文館高等学校）
●21世紀アジア学部
◇21世紀アジア学科
後藤由来（茨城県立石下紫峰高等学校）
今村友紀（私立土佐女子高等学校）
田栗汐織（北海道函館中部高等学校）
並木玲菜（東京都立忍岡高等学校）
村上雅輝（宮城県気仙沼高等学校）
川崎麻未（私立聖ウルスラ学院英智高等学校）
●経営学部
◇経営学科
小林花奈（私立東葉高等学校）
大桶礼奈（栃木県立さくら清修高等学校）
内村悠希（東京都立目黒高等学校）
小宮康平（千葉県立国府台高等学校）

《柴田徳次郎賞》※

●大学院政治学研究科
チャンロイ パチャラポン
●政経学部
紀野壮実（私立湘南工科大学附属高等学校）
●体育学部
古井里奈（私立名古屋女子大学高等学校）
●理工学部
川原渓青（兵庫県立姫路商業高等学校）
●法学部
土屋竜馬（私立西武台千葉高等学校）
●文学部
小森田依奈（栃木県立大田原女子高等学校）
●21世紀アジア学部
貫井優希（私立目白研心高等学校）
●経営学部
中野巧巳（千葉県立津田沼高等学校）

※**柴田徳次郎賞**
創立者・柴田徳次郎の国士舘創設の趣旨および建学の精神を永久に堅持し、昂揚（こうよう）する目的をもって、柴田徳次郎賞基金を創設し、本学学生にしてこの目的達成に抜群の成果をあげた学生に対し、授与するもの。本基金は柴田家ならびに趣旨に賛同された実業家の故・白川好古氏の寄付により成り立っている。

一冊いかが

法学部3年
助川　莞太

皆さんこんにちは。私はダンスサークルGIPsに所属しています。そんな私が紹介する本は三浦しをんさんの著書『舟を編む』です。この本は平成23年に出版された後、同24年に本屋大賞に選出され、アニメ化や映画化された作品です。

この物語の主人公は出版社の営業部に所属していますが、コミュニケーション能力の低さゆえに営業成績が振るわず周囲から変人扱いされています。しかしその鋭く豊かな言葉に対するセンスと真摯に向き合い紡ぎだされる彼らの一つ一つの言葉に私は感動しました。普段私たちが何気なく使っている「言葉」という表現はたくさんの可能性を秘めていると、深く感じさせられた作品です。

私は日々ダンスという表現と関わっています。その中で楽曲や歌詞、リズムの持つ意味を考えて作品を作っています。「言葉」と「ダンス」は全く異なる表現ですが、どちらもその場面における心情の変化などを表すことができるものです。この作品は、私の日常の言葉遣いやダンスへの考えを変えた思い出の1冊です。ぜひ読んでみてください。

「舟を編む」　著者：三浦しをん

辞書『大渡海』の刊行に向けベテラン編集者たちと辞書作りに情熱を注いでいくという物語です。

突然ですが皆さんは「右を説明してください」と言われたら何と答えますか。この問いは物語の冒頭に出てくる主人公へ投げかけられた質問です。主人公は「西を向いたとき北にあたるほうが右」と答えます。その後も「保守的思想を右という」などとつぶやきながら辞書を引き始めてしまいます。言葉の持つ意味は一つではないことを理解していて、その言葉と真摯に向き合い紡ぎだされる彼らの一つ一つの言

2020年3月下旬に「同窓会入会のご案内」をお送りしました。皆様のご入会をお待ちしています。

新４年生の皆様へ
国士舘大学同窓会入会のご案内

国士舘大学同窓会は、昭和49年の設立以来、会員の親睦互助を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的に活動してまいりました。会員数は現在約140,000人。全国に52支部を設立し、会員相互の連携・交流事業を通して絆を深めています。学園祭・就職支援など在学生会員をサポートしています。卒業後も母校国士舘の同窓生として、後輩たちの道しるべに…

＜母校、在学生に対する諸事業＞
□卒業記念品の贈呈
□学園祭、学生諸行事への支援、地方父母懇談会開催時の協力 ほか
□割引率の高い学生総合保険の紹介（学費納入者が万一の場合の学費補償、疾病、傷害、賠償責任が補償されます）
□在学生のための就職支援を行う会員団体への援助（支部就職支援委員会、楓教育会など）
□母校記念事業募金の支援（同窓生への協力呼びかけ、行事企画参加など）
□箱根駅伝、各種スポーツへの支援

国士舘大学同窓会
詳しくはホームページをご覧ください。
http://www.kokushikan-dousou.jp/
国士舘大学同窓会本部 Facebook
https://www.facebook.com/kokushikan-dousou
お問い合わせ　同窓会事務局：03-3413-7303